

令和6年度 杵束まちづくりセンターの主な取組

事業名

親子の育ち応援事業・非常持出品+地震体験車

P

●事業実施に至った背景、目的

全国的には地震や豪雨による災害が頻発している。幸いなことに弥栄（杵束）では発生していないため危機意識が薄らいでいる状況であるが、災害はいつどこで発生するか予見できないので、被災していない今のうちから準備を進めておく必要があると考える。また、より多くの方が参加できるように杵束地区と安城地区で事業を実施することとなった。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・杵束まちづくりセンター運営推進委員会で、実施の決定
- ・浜田市消防本部で地震体験車の予約（令和6年10月）
- ・事業の実施（令和6年11月17日（日）、21日（木））

D

●事業の概要

- ・大人も子どもも自分専用の非常持出品で何が必要なのか考え、災害時に1人だった時でも、持ち出せるように備える。
- ・地震体験車により、過去に大きな被害をもたらした地震の揺れを体験し、揺れの中で自分に何ができるか、できないかを考える。
- ・11月17日（日）は弥栄の朝市「や市」の会場で、21日（木）は杵束まちづくりセンターで実施。
- ・参加人数 34人（17日14人、21日20人）

C

●事業実施後の振り返り

- ・地震体験車したい人が予想より多かった。
- ・地震体験をしたことで非常持出品の大切さが伝わった。
- ・や市のイベントが多い時は、分散した。
- ・非常持出品は説明があり、流れのある企画が良かった。非常持出品の手作り感が良い。
- ・弥栄でおきる現実的な災害をイメージできると良かった。
- ・非常持出品を考えるきっかけ作りになった。

A

●令和7年度以降の方向性

- ・この事業は継続、反復して実施する。
- ・参加者の拡大を図るため、広報の方法を検討する。
- ・「や市」などの屋内イベント時の開催は、来場者の分散を起こしてしまうので、実施しない→この事業単独で行う。
- ・非常持出品を整える動きが出てきたので、実際に準備した人に持ってきてもらい、準備していない人の参考にしてもらう。

親子の育ち応援事業

自分専用 非常持出品 + 地震体験車

災害に備えよう！

自宅避難が出来ない時や子どもが1人の時など、もしもの時の非常持ち出し品や避難は出来ていますか？避難所では必要ないがという時に必要な物は持ち、今回は実際に使える様に、自分専用の非常持出品を考えます。

11月17日(日)
9時30分～11時30分
弥栄会館前駐車場

非常持出品+地震体験車を体験したらお土産があるよ
や市の会館に立ち寄ってね！

参加料 **無料**

お問合せ
杵束まちづくりセンター ☎48-2258

親子の育ち応援事業

自分専用 非常持出品 + 地震体験車

災害に備えよう！

自宅避難が出来ない時や子どもが1人の時など、もしもの時の非常持ち出し品や避難は出来ていますか？避難所では必要ないがという時に必要な物は持ち、今回は実際に使える様に、自分専用の非常持出品を考えます。

11月21日(木)
10時30分～12時
杵束まちづくりセンター

非常持出品+地震体験車を体験したらお土産があるよ

参加料 **無料**

お問合せ
杵束まちづくりセンター ☎48-2258

